



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 2月号
平成27年1月30日 発行
発行責任者：野田 豊

次年度に向けて

校長 野田 豊



年が変わりひと月がたちました。二月は（逃げる）とも言われますが、他の月に比べ日数が少ないことと4月からの新年度の準備期間と重なり、慌ただしくあっという間に過ぎ去ってしまうように感じます。また、1年中で最も寒い時期でもあり、健康管理にも留意したいものです。

さて、現在学校では、1年間の教育活動を振り返り、今年度設定した目標がどれくらい達成できたか、また、解決を図っていくべき課題は何か、その解決の方策をどのように設定するかといった学校の自己評価と次年度の教育計画の策定を進めています。また、保護者の皆様にはアンケートにより今年度の旭丘小の教育活動に対するご意見やご要望をお寄せいただきました。学校の自己評価と併せて保護者の皆様からいただいた評価・ご意見を参考とさせていただき、次年度に生かしてまいりたいと思います。保護者アンケートの結果の詳細は、後日配布させていただきますので、そちらをご覧くださいただければと思いますが、ここでも少しそのことに触れてみたいと思います。

まず、学力の向上については、算数少人数指導の定着や個に応じた支援の工夫と充実に努めてきたことで、少しずつですが成果がみられるようになってきました。学力の向上と教員の授業力の向上は不可分の関係です。引き続き教員の研修の充実を図り、教員の資質・能力の向上に努めてまいります。さらに、次年度は放課後の補習タイムを設定し、学習支援の時間的な保証も行って行く予定です。

豊かな心の育成については、挨拶運動をはじめ、本校の特色である縦割り班活動、通常学級と特別支援学級との交流授業等を重視してきました。それにより、児童に思いやりやさしさをはぐくむ機会が増え、道徳教育との関連を図りながら指導ができたと考えます。一方、言葉遣いやきまりの守り方等において少なからず課題がみられました。保護者・地域の皆様のご協力を得ながら、改善・向上を図っていきたいと考えます。その他、読書活動の推進、体力の向上、開かれた学校づくり等についても十分に検討した上で、課題の解決・改善に向けた具体的な取組を考え、学校全体で実行に移していきたいと考えています。

また、今月は第3回目のふれあい月間です。いじめ・不登校の解消、暴力の根絶に向け、実態調査、個別面談、DVD教材を使用した道徳授業や学級指導を行ってまいります。